

筑波大学体育会ワンダーフォーゲルクラブ山行計画 (party wandering)

山行名：武尊様。今、会いにゆきます。

【個人装備】

- ザック ヤッケ or 雨具 シュラフ シュラフカバー マット 登山靴
- ナイフ レーション 軍手 ポリタンク2L ライター コンパス 地形図 食器 非常食
- 非常用パック 医療用パック 保険証 防寒着×2 帽子 ビニール袋 トイレットペーパー
- 新聞紙 ヘッドランプ 時計 細引き 着替え お金 学生証 携帯電話 米 合
- タオル 手袋×2 オーバークロブ スパッツ サングラス ゴーグル 日焼け止め 雑巾
- ピッケル アイゼン ワカン 目出帽 替えバンド3種 (ワカン、アイゼン、スパッツ)
- ハーネス スリング (120cm) ×2 スリング (60cm) ×2 カラビナ×4 環付きカラビナ×2
- エイト環 プルージック用スリング×2 ヘルメット 計画書

【剣ヶ峰 I 峰】

一日目 (往路)

T : 原田
S : 大石

T : 大石
S : 原田

T : 大石
S : 原田

I 峰

←前武尊へ

II 峰へ→

二日目 (復路)

T : 原田
S : 大石

懸垂下降セット :
原田

T : 大石
S : 原田

I 峰

筑波大学体育会ワンダーフォーゲルクラブ山行計画 (party wandering)

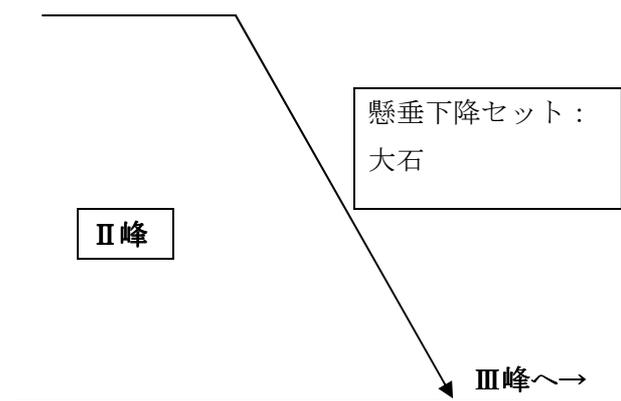
山行名：武尊様。今、会いにゆきます。

←前武尊へ

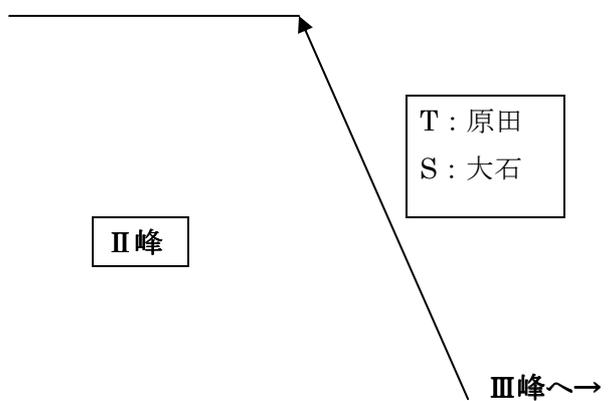
Ⅱ峰へ→

【剣ヶ峰Ⅱ峰】

一日目 (往路)



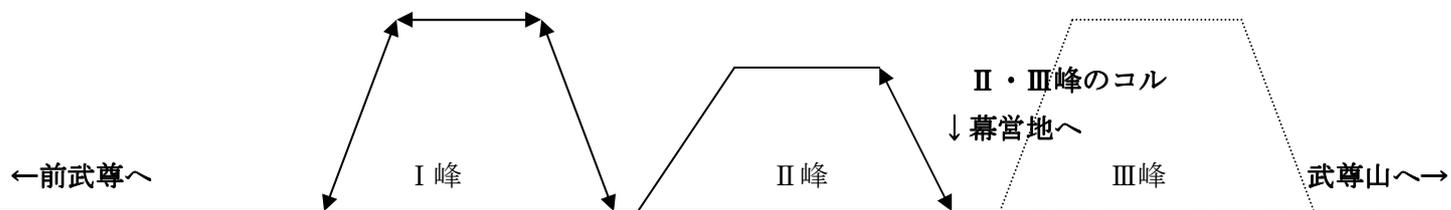
二日目 (復路)



筑波大学体育会ワンダーフォーゲルクラブ山行計画 (party wandering)

山行名：武尊様。今、会いにゆきます。

【剣ヶ峰概念図】 矢印の箇所がロープワークを行う地点



筑波大学体育会ワンダーフォーゲルクラブ

山行報告書 (patry wandering)

【山行名】 武尊様。今、会いにゆきます。
【日時】 2007.3.12 (月) ~2007.3.13 (火) 前夜発 1泊2日
【目的】 合宿前の総確認 来年度にむけて、ロープワークの実践

メンバー：CL 大石 原田 林 川口

前夜 つくばーOGUNA ほたかスキー場

[一日目 3. 12 (月)]

前夜にかなり雪が降って、リフト乗り場の近くまで車が入れずにもっと下のほうに止めていたために、朝に上のほうに車を運ぼうとしたが、道路が凍っていてなかなか上までいけなくて時間をロスする。

結局リフトに乗ったのは 10:00 頃。三つのリフトを乗り継いで最上部まで行くのだが、最後の一つが運行していない。前夜に予想以上に雪が降ったためらしい。30 分くらいまってやっと最上部に到着。

11:00 リフト最上部

スキーとストックを尾根上の木の陰に隠して出発した。

帰り道が分かりにくいのは去年来て知っていたので、後ろを振り返りつつ、帰り道が分かるように赤旗を立てながら進んだ。かなり最初のほうから旗を立てながら進んだほうがいい。

13:30 前武尊山南に幕営完了

この日に剣が峰にいくつもりだったのだが、時間的に難しかったので、前武尊山の南の尾根から少しはなれた樹林帯にテントを張ることにした。

その後、幕営地周辺で訓練。内容は

- ・ 搬送訓練の復習
- ・ 制動確保訓練
- ・ 滑落停止訓練

の三つ。

15:45 には訓練を終わり、テントに戻った。

[二日目 3. 13 (火)]

4:00 起床 風が強い。少しガスが出ているようだ。

6:00 出発

7:15 一峰ののぼりロープワーク開始

9:15 一峰の尾根上

一峰ののぼりは一ヶ所岩と雪のミックスになっているところがあって、そこは結構難しくなっていた。

時間が無いので一峰のトラバースをして帰ることに。

13:30 スキー場リフト最上部

ここからスキーで下って駐車場まで行く。山靴でスキーを履くと大変なことになるから注意。

反省会

逸郎さん

雪上訓練ではリーダーとして、今回は現役を後ろから見ただけとして、という立場で同行したが、判断も概ね良いと思う。時間の感覚など。

前夜に大雪が降ったがこれは雪の少なかった今年の冬研にとって、思わぬ収穫だったのではないか。

季節は春に近づいてきたが、気圧配置が西高東低という冬型になれば山のうえではすぐに冬に逆戻り。気を抜かないでほしい。

哲生さん

天気図だけでなく、ラジオで天気予報を聞くなどもっと翌日に対しての情報を集めても良かったのでは？

天気図をメンバー全員で見明日のことを話し合うなどをしたほうがいい。赤旗を出すタイミング、ロープワークをする時など、しっかり言葉にしてチーム全員で情報を共有して、意思の疎通ができるようにすることが大事。

ギアを外に出しておくときは、スリングで一まとめにするなどの工夫が必要。

原田

くだりで変な方向に行ってしまったことがあった。赤旗を意識して下るべきだった。

ごみを風で飛ばされるシーンがあったが、それが大事なものだしたら……。気をつけなくてはいけない。

オーバーグローブをどこかでなくして、先輩の予備を使うことになった。反省。

大石

やはりロープワークの実戦経験がすくなかったため、なんというか勘が鈍っていた感じがして、思わぬ時間がかかってしまった。

大雪で今年経験の少なかったラッセルなどもできて、来期につながる意義のある山行になったと思う。

先輩方がいると緊張感がある。裏を返すと、先輩方がいないときはやはりすこし気が抜けているところがあるのかもしれない。締めるところはきっちりしないといけない。